

ごあいさつ

日頃より私の活動に対しましてご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。
 昨年はドライバー不足による路線バスの減便・廃止が相次ぎ、救急医療や除排雪など、あらゆる分野で担い手確保が深刻な課題となっています。厚別区でも今後、人口減少が進むとされ、生活の足となる公共交通の維持、買い物困難者への支援など、少子高齢社会が抱える課題にきめ細かに対応していく必要があると感じています。また、長引く物価高騰から暮らしと経済を守るための取り組みを推進し、誰もが安心・快適に暮らせるまちの実現に向けて力を尽くしてまいります。今後ますますのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

札幌市議会議員 こじまゆみ

札幌市議会議員

こじまゆみ

厚別区

令和8年度予算編成に向けた重点要望(抜粋)

私たち札幌市議会自民党議員会は各種団体の皆さまからのご意見やご要望を予算に反映し、市政課題の解決に向けて取り組んでいます。

- 物価高騰対策 ●GX推進 ●クマ対策
- 地域公共交通事業者への支援強化
- 交通弱者への救済策の推進
- 生活道路除排雪のレベルアップ
- 学校付近の交差点へのガードレール設置
- 子ども医療費助成、給食費負担軽減
- 児童虐待撲滅、子どもの貧困対策
- 人材確保・育成に向けた支援強化 など

厚別区における要望事項

- 1.厚別青葉通の歩道緑地帯縁石の改善
- 2.山本こ線橋拡幅工事における歩道橋乗降口の位置変更



地域課題について地元関係者から聞き取り

こじま ゆみ政務調査室

〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条5丁目8-20
TEL:011-896-6633 FAX:011-896-6631人に寄り添う政治で
笑顔あふれる厚別へ「厚別ふれあい循環バス」が
4月から本格運行へ

昨年3月に廃止となった「厚別ふれあい循環線」に代わり、地域が主体となって協議が進められてきた「厚別ふれあい循環バス」は、令和8年(2026年)4月から本格運行へ移行する方針となりました。これまでの運行実績では収支率50%に届いていませんでしたが、協賛金の活用や運用経費の見直し、敬老パスを活用した新たな仕組みの導入により、4月以降は収支率が50%を上回る見込みです。通勤・通学やお買い物、お出かけなどに、ぜひお気軽にご利用ください。



停留所一覧	①JR厚別駅	⑧青葉町1丁目
	②厚別中央まちづくりセンター	⑨青葉町2丁目
	③安楽寺前	⑩新さっぽろ駅
	④旭町	⑪東商業高校前
	⑤ひばりが丘西公園前	⑫厚別中央5条5丁目
	⑥ひばりが丘駅	⑬厚別中央5条4丁目
	⑦厚別中央1条4丁目	⑭JR厚別駅

※運賃300円、平日のみ運行 お問い合わせ/まちづくり政策局都市交通課☎211-2492

RSウイルスワクチン接種が
札幌市の全額負担に

厚生労働省から妊婦へのRSウイルスワクチンの定期接種化の方針が示されたことを受け、札幌市は国に先立ち、令和8年4月から全額費用負担により定期接種を実施できるように準備を進めています。対象となるのは妊娠28週～37週の方です。



接種開始予定時期 令和8年(2026年)4月1日

費用 市が全額負担(自己負担なし)

対象 妊娠28週～37週に至るまで(36週6日目まで)の方

お問い合わせ/保健福祉局保健所感染症総合対策課☎622-5199

<RSウイルスの症状>乳幼児に多い呼吸器感染症で、生後1歳までに半数以上、2歳までにほぼ100%の子が感染すると言われています。成人にとっては風邪程度で済むことがほとんどですが、特に生後6か月未満の乳児では、肺炎など重症化しやすく、急性脳症などの重篤な合併症を引き起こすこともあります。

<予防接種の有効性>妊婦への接種により母体を通じて産まれてくる赤ちゃんに抗体が作られ、RSウイルスを原因とする肺炎等の下気道感染症を予防する効果があります。

参考)厚生労働省ホームページ「RSウイルス感染症とは」

こじまゆみの
プロフィール

昭和41年8月28日生まれ。札幌東高、札幌医科大学衛生短期大学部看護学科卒業。札幌社会保険総合病院ほかで勤務。平成19年、札幌市議会議員に初当選し、現在5期目。この間、厚生常任委員長、新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員長、札幌・石狩地方議員連絡協議会会長などを歴任。現在、札幌市議会総務常任委員、総合交通政策調査特別委員

市民の皆さまと力を合わせて 新たな札幌の活力ある未来を創造

私たち札幌市議会自由民主党議員会は、令和7年12月東京を訪れ、中央省庁や国会議員への要望活動を実施しました。物価高騰対策やヒグマ対策、除排雪など、市民の暮らしに直結する重要課題への支援強化を求めるとともに、丘珠空港の滑走路延伸を含めた交通政策の推進、GX推進、国土強靱化、子育て環境の整備、医療・介護・福祉の充実、スポーツ振興に必要な予算の確保を訴えました。札幌市議会の最大会派として所属議員25人が一丸となって国内外から人・モノ・情報が集まる活力ある街の実現に挑戦し、札幌の未来への責任をしっかりと果たします。



12月12日、市議団が中央要望を行い、市政課題に対する支援強化を求めた



子ども政策拡充で子育て世帯を応援

増え続ける児童虐待に対応するため、札幌市は令和7年9月、市内2か所目となる児童相談所を白石区に開設しました。新たに誕生した「札幌市東部児童相談所」は痛ましい虐待事件を受けて自由民主党議員会が開設を要望してきたもので、白石、厚別、豊平、清田の4区を管轄します。

このほか、急な発熱時などに子どもを預ける「病児・病後児保育のオンライン予約開始」、病気や育児疲れのため養育が困難となった際に一時的に子どもを預けられる「里親ショートステイ」の全市展開を進めるなど、子育てにやさしい街に向けて支援を拡充してまいります。



物価高騰対策で活力ある経済を実現

自由民主党議員会では長引く原材料・エネルギー価格高騰に苦しむ市民や事業者の負担を軽減するため、政府与党や札幌市に対し、物価高騰対策の拡充を訴えてきました。引き続き、物価上昇を上回る賃上げにより活力ある強い経済が実現できるよう全力で取り組んでまいります。

●食料品の物価高騰に対する特別支援

市民一人あたり**3,000円**を支給

●ガソリン・電気・ガス料金の負担軽減

ガソリン暫定税率廃止で1世帯あたり年間**1万2,000円**程度値下げ

※燃費15km/Lで月間約200km走行した場合

電気・ガス料金 3か月で合計**7,000円**程度値下げ

※電気使用量の大きい1〜3月に支援

低圧契約 **▲4.5円**/kWh 高圧契約 **▲2.3円**/kWh 都市ガス **▲18円**/m³

●子育て応援手当(仮称)

0歳から高校3年生までの**子ども一人あたり2万円**を支給

持続可能な除排雪に向け試験施工を実施

札幌市では将来的な税収減や除雪作業の担い手不足の可能性を考慮し、持続可能な雪対策の実現に向けた議論を始めました。今シーズンは地域の不公平感の解消などを目的として、「パートナーシップ排雪制度」や「市民助成トラック制度」を含めた生活道路の除排雪方法の見直しを検討するため、厚別区と清田区で試験施工を実施いたします。この試験施工は、これまでパートナーシップ排雪を利用していなかった地域も含め排雪を行うため、従来よりも雪を多く残しますが、市が費用を全額負担するというものです。



自由民主党議員会では安全で快適な冬の生活に欠かせない除排雪の強化に向けて活動が続けてきましたが、よりよい除排雪体制の構築に向けて引き続き取り組んでまいります。

ヒグマ対策の強化で安全・安心を確保

令和7年は各地でヒグマの出没が過去最多となり、ヒグマ警報が発令された札幌市西区では、市街地で市町村の判断によりクマを駆除する「緊急銃猟」が道内で初めて実施されました。札幌市では猟友会や警察などの関係機関と連携して対策の強化を進めていますが、人の生活圏への出没防止対策の充実、同時多発的出没や緊急銃猟に備えた体制の構築、ハンターの技術向上・育成のための環境整備、個体数の適正管理、学校・登下校時の安全確保など課題も多いのが現状です。

私たち自由民主党議員会としても、政府のクマ被害対策パッケージを踏まえ、市民の皆さまの安全・安心を守ってまいります。

